

学校評価公表シート（自己点検・自己評価）

1. 岩槻幼稚園の目標

☆教育基本法ならびに学校教育法に基づいての教育

☆キリスト教保育に基づく情操教育・・・一人ひとりが神さまから与えられた大切な存在であるということを知る

- ・一人ひとりの成長しようとする心を大切にします
- ・知りたい、やってみたいという意思を尊重します
- ・「友だちっていいな」…共に生きる喜びを味わいます
- ・神さまの恵みを知り、感謝の心を育みます

★幼稚園生活を通して、子ども・親・保育者が共に育ちあう保育をつくって
いきたいと願います

2. 本年度、重点的に取り組む目標・評価

評価項目に沿って自己点検・自己評価をすることによって、教師各々が
保育に対しての気づきを得て、意識を高めていくことを目標としたい
※感染症に対する周知（感染防止・健康維持等）を徹底する
保育形態、罹患した場合の対処等、自治体の対応に準ずる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園教育要領の基本を大切に受け止め、あわせて本園の教育方針を充実させたい	幼稚園教育は幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであり、何より遊びが中心であるという認識を教職員の共通理解とし、指導計画を考える
異年齢保育が活かされる保育展開に務め、各年齢の子どもが楽しいと思える保育にする ※年齢別活動を増やしていく	異年齢保育（3, 4, 5 歳児が一緒に活動する）を充実させるために、環境、素材の提供などの準備をきちんと行う。教材によっては、年齢別にすることによって、それぞれの年齢に応じた対応をする
子ども一人ひとりの安全が守られ、のびのびとした環境で過ごせるよう配慮する ※感染症対策	園内外の安全環境を考える （交通安全対策・園庭の清掃・害虫駆除・樹木の剪定・定期的な大掃除・水質検査等環境調査）の実施 ※感染症対策 <u>マスク着用(任意)、検温表にて毎日の健康チェック、消毒液の設置</u>
園だよりやホームページ、Instagram、ブログで保護者を対象とした情報を提供している	毎月発行の園だより「あゆみ」で、園の様子や子どもの様子、月行事を知らせ、子育て情報を共有している。ホームページ、Instagramを持ち、ブログは毎週更新して、日々の園生活を広く知らせている
子育て支援として、取組みを再考する	現在2歳児クラスの設置と地域への「園庭開放」を行っている。親子の愛着形態に視点を置き、援助する働きを充実させていきたい。地域の小規模保育園3園との連携を行った。地域に根ざす園として交流を行っていきたい
地域との関りを密に持つよう務める	教会付属の幼稚園として、卒園してからも門戸を開いている。地域の小規模保育園との連携から交流をもった。再開して2年目のバザーは、好評で、地域交流も好意的と捉えている
研修会やセミナーに積極的に参加して、教職員に資料提供をする	研修会参加。研修内容を職員会議や研修日に共有し、保育を可視化して、分担し、活かしていけるようにしている

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理 由
B	少人数の良さを生かした異年齢保育ならではの取り組みも行えたのではないかなと思う。園児募集については引き続き課題となり、未就園児クラスからの入園者に期待していきたい。地域の小規模保育園との連携や、子育て支援型幼稚園への移行も成果を期待しながら今後を考えていきたい。職員会議・研修を月1回行い、職員同士の情報共有や研修での学びの共有ができたことは有益であった。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	インスタグラムを開始したので、ニーズにこたえられるような情報を掲載し、投稿頻度を増やしていきたい ホームページの随時更新 ブログ「今週のいわつきようちえん」
自己点検・自己評価	多くの意見を聞き、自分たちに不足なものを取り入れる準備を整える
今後、入園希望児をどう増やしていくか	園庭開放についての発信の仕方を再考。ポスター掲示やインスタグラム、ブログ、ホームページなどで幼稚園の情報を発信して、周知する 連携した小規模保育園3園との交流を行う 2025年度より、さいたま市子育て支援型幼稚園へ移行するので、周知を図っていきたい

6. 学校関係者評価

ブログやインスタグラムを見させていただいています。
 季節ごとの行事や夢中になる遊びなど、様々な体験をされていますね。
 子どもたちの元気で楽しそうな声がきこえてくるようで、卒園児母として嬉しく笑顔になります。